

1 単元名 「大人になれなかった弟たちに…」(光村図書 中学校国語1)

2 単元の目標

- 読書が、知識や情報を得たり、自分の考えてを広げたりすることに役立つことを理解することができる。  
(言語文化(3)オ)
- 場面の展開や登場人物の相互関係、心情の変化などについて、描写を基に捉えることができる。  
(C読む(1)イ)
- 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。  
(学びに向かう力、人間性等)

3 単元について

(1) 教材観

読書は、人生をより豊かなものにするだけでなく、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするなど、国語科で育成を目指す資質・能力をより高める重要な活動の一つである。本教材は戦争という特殊な状況下の話であるが、本文から心情や情景を豊かに想像したり、関連する本や文章を参照したりすることで、今を生きる生徒たちにも切実感をもって作品世界を追体験することができる。こうした学習を通して、読書の価値を理解するようにする。

なお、本教材の出典は絵本である(米倉斉加年(1983)「おとなになれなかった弟たちに…」偕成社)。絵本は、乳幼児だけでなく、全ての世代で読み味わえる表現媒体として認知されている。読書に興味をもちにくい生徒も、絵本をきっかけに本に関心をもつことが考えられる。原作とともに、関連する絵本も紹介したい。

(2) 生徒観

本学級の生徒は、男子1名、女子1名の少人数である。男児は小学校中学年程度の漢字の読み書きはできるが、登場人物の心情を読み取ることを苦手としている。女児は登場人物の心情をおおむね理解することはできるが、漢字の読み書きは苦手な小学校低学年程度である。また、2人とも語句の意味なども、読み進めていく中で、タブレット等で写真や映像を示して理解をサポートする必要がある。

(3) 指導観

- マルチメディアダイジー教科書(音声教材)や教科書会社のコンテンツサイトを活用して、読みの苦手さを支援する。
- タブレット等を活用して、写真や映像を通して情景をイメージしやすいようにする。
- 必要に応じて教科書にルビを振らせる。
- 作品を通して、戦争の悲惨さを知り、自分自身の家族の中に苦しい戦争体験を聞いたり、現在も同じような状況に置かれている子どもたちはいないか調べたり、平和について関心をもたせる。

(4) ESDとの関連

・ 本学習で働かせるESDの視点(見方・考え方)

多様性…世界にはさまざまな価値観をもつ人々がいること。

相互性…日本と世界を相互に関わり合っていること。

連携性…日本と社会は順応・調和し、互いに連携・協力することにより構築されること。

・ 本学習を通して育てたいESDの資質・能力

多面的・総合的に考える力…日本と世界のつながりを理解し、平和を構築するために多面的、総合的に考える力。

つながりを尊重する態度 …日本と世界、自分と社会のつながりに関心をもち、それぞれの立場と、そのつながりを尊重しようとする態度。

・本学習で変容を促すESDの価値観

人権・文化を尊重する…世界中全ての人々が尊重される平和な世界，社会の構築。

・達成が期待されるSDGs

- 1 6 平和と公正をすべての人に
- 2 飢餓をゼロに
- 3 すべての人に健康・福祉を



4 単元の評価規準

(ア)知識・技能	(イ)思考・判断・表現	(ウ)主体的に学習に取り組む態度
○読書が，知識や情報を得たり，自分の考えてを広げたりすることに役立つことを理解している。	○「読むこと」において，場面の展開や登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写を基に捉えている。	○登場人物の相互関係，心情の変化などについて，描写をもとに積極的に捉え，インタビューやインターネットを通して戦争について調べようとしている。

5 単元の指導計画（全5時間）

時	学習活動	学習への支援	評価・備考
1	<p>①学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>題名にこめられた作者の思いは？ なぜ「たちに…」が付いているのか？</p> </div> <p>②太平洋戦争について知っていることを出し合う。</p> <p>③全文を通読する。</p> <p>④新出漢字や語句の意味を確認する。</p>	<p>・学習の目標を確認させる。</p> <p>・太平洋戦争について，書籍や映像，地元の様子，体験談などに触れ，戦争状況についてイメージがもてるようにする。</p> <p>・教科書会社のコンテンツサイトを活用して朗読を聴かせる。</p>	<p>(ア)</p> <p>タブレット</p> <p>PC</p> <p>タブレット</p>
2	<p>①前時の学習内容を振り返る。</p> <p>②1の場面(戦時下の生活)を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「母」が食べ物をあまり食べない理由</li> <li>・「僕」がミルクを盗み飲みした理由</li> </ul> <p>③2の場面(疎開)を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「あんなに美しい顔を見たことはありません」</li> <li>・山あいの村に向かう途中の描写</li> </ul>	<p>・戦時下でどうにもならない「悲しみ」を抱いていることに気づかせたい。</p> <p>・母の顔を美しいと感じたのはなぜか考えさせる。</p> <p>・美しい風景の描写を通して，僕の心情が表現されていることに気づかせる。</p>	<p>(イ)(ウ)</p>

3	<p>①前時の学習内容を振り返る。</p> <p>②3の場面(ヒロユキの死)を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 白く乾いた一本道</li> <li>・ 「そのとき、母は初めて泣きました」</li> </ul> <p>③4の場面(終戦)を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ひもじかったことと、弟の死は一生忘れない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帰り道の描写を通して、悲しみに耐えている心情に気づかせる。</li> <li>・ 母が初めて泣いたことに注目させたい。</li> <li>・ 戦争の悲惨さをしっかりと理解させる。</li> </ul>	(イ)(ウ)
4	<p>①前時の学習内容を振り返る。</p> <p>②作品の時代背景を踏まえて、題名のもつ意味について考える。</p> <p>③「ヒロユキ」や「ヒロシマ」「ナガサキ」を片仮名表記にした作者の意図を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>自分の身近に「僕」や「ヒロユキ」はいないのか？ 今、世界に「僕」や「ヒロユキ」はいないのか？</p> </div> <p>④インタビューやインターネットを通して平和について調べる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「弟たち」と複数形から「ヒロユキ」だけに対する思いではないことを確認する。</li> <li>・ この作品が戦争の犠牲者たちに捧げられた作品であることを理解させたい。</li> <li>・ 片仮名で表記することで、固有の事象を普遍化しようとした作者の思いに気づかせたい。</li> <li>・ 自分の家族の戦争体験を聴き取らせたい。</li> <li>・ ニュース記事等からウクライナやガザ地区の子どもたちの状況も考えさせたい。</li> </ul>	(ウ)      ロイロ
5	<p>①前時の学習内容を振り返る。</p> <p>②調べたことを発表する。</p> <p>③学習を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ロイロにまとめさせておく。</li> </ul>	(ウ)  ロイロ

新出漢字・語句

初読の感想

去年ナガサキの勉強した

インタビュー



米倉斉加年ってどんな人？

- ・1934(S4)～2014(H26), 福岡県出身
- ・俳優, 演出家, 童話作家。1957年劇団民藝に入る。宇野重吉を師事。
- ・著書…絵本「多毛留」「人魚物語」「おとなになれなかった弟たちに…」(戦争三部作) 随筆「演ずるとは」など



題名にこめられた作者の思いは？

なぜ「たちに…」が付いているのか？

たくさん弟がいたのかな？

でも家族は母・祖母・妹・弟・自分って書いてある？

描写から登場人物の心情を捉えよう

小さな塚で座って寝るのはつらいし、怖いだろうなあ

盗み飲みをするほど、ひもじかったんだ

母乳が出なくて、ヒロユキは大丈夫？

盗み飲みする「僕」の気持ち

子どもを食べさせられずに母親もつらい

親戚に誤解され、農作業も初めてなのに、母親は強いなあ

2の場面(疎開)

(あゆをとろうと)母親思いだなあ

「帰ろう」と言った母の顔

3の場面(ヒロユキの死)

ぎりぎりまで生きようとしたヒロユキを守れなかったことが悔しいんだね

心が空っぽになって悲しくてたまらない気持ち

白い乾いた一本道

初めて泣いた母

4の場面(終戦)

ひもじかったことと、弟の死は一生忘れない

戦争は市民も苦しむんだ

父親は弟に会いたかっただろう

ヒロユキのような子どもたちは日本中にいたんだから題名が「弟」ではなく、「弟たち」なんだ。「に…」は戦争犠牲者に捧げるという意味だったのか。ヒロユキもヒロシマ・ナガサキと同じようにカタカナで書くことでみんなの問題として捉えているのか

自分の身近に「僕」や「ヒロユキ」はいないのか？  
今、世界に「僕」や「ヒロユキ」はいないのか？

おじいちゃん・おばあちゃんに聞いてみよう(インタビュー)

ウクライナの子どもたちは？調べてみよう(インターネット)

朗読会